



1935

宅配便の元祖「宅扱」貨物であふれた貨物駅には
馬車とオート三輪車が共存。



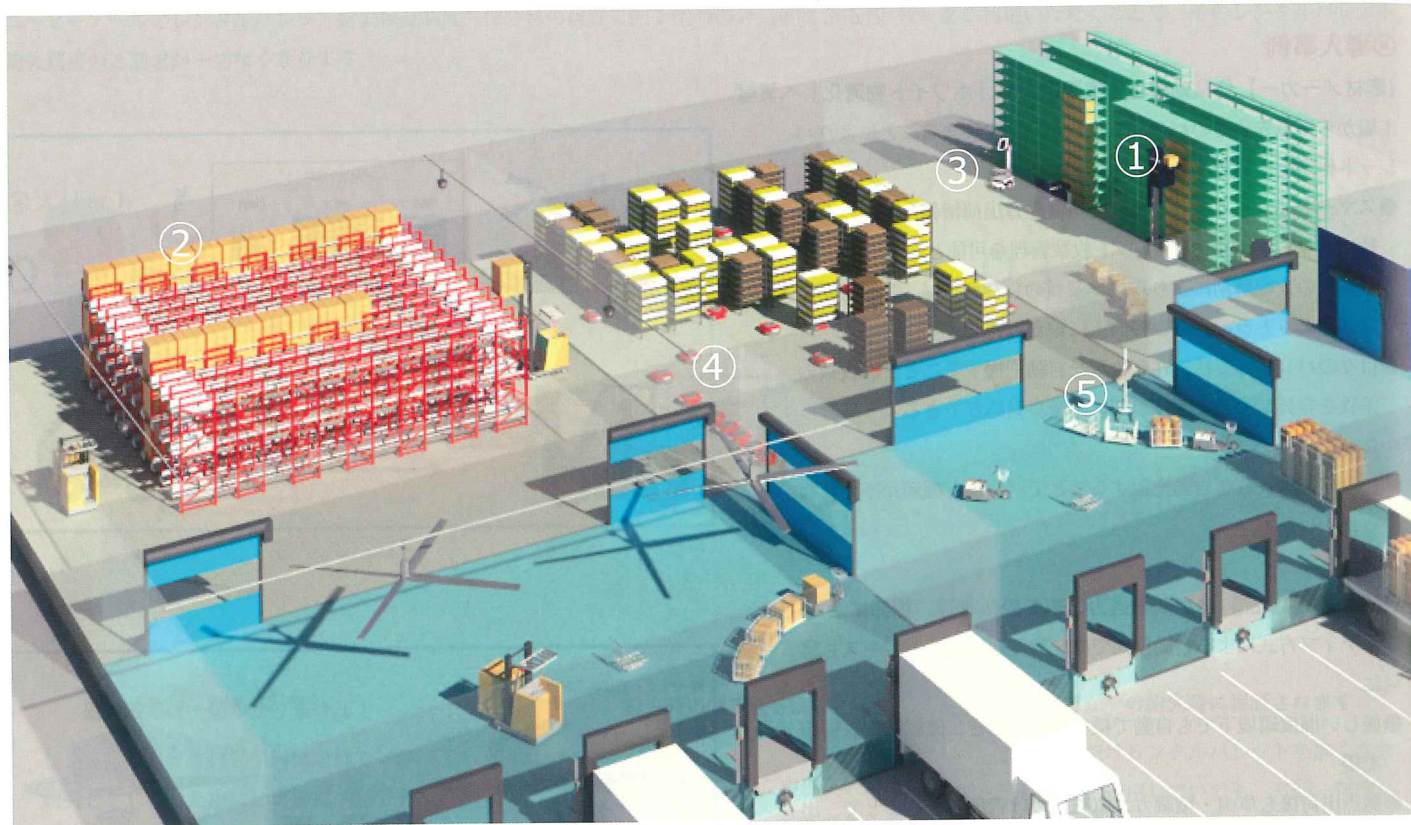
2021

EC貨物は無人の自動化ターミナルで
次々と仕分けられる。



物流現場の“お悩み事”を解決する ジャロックの生産性向上ソリューション

コロナ禍の中で約1年が経ち、生活環境は大きく変わり、消費者の購買行動やニーズ多様による通販需要が今まで以上に拡大する昨今。何が起こるか分からない時代だからこそ、物流現場の「半」自動化を推進し、働き易さと生産性向上を両立させるツールをご紹介します。保管品種の多様化や生産量拡大による庫内の保管スペース不足や人材不足の悩みにも一助します。



①既存棚を活かした上部空間有効活用ソリューション

既存中量ラックの上部空間に高層ラックを作る「タナ TsumU™ (タナツム)」は最短1日の施工で通常業務への影響は最小限にとどめて保管率を約2倍に増やします。翌日からフォークリフト免許不要で高層ピッキング運用が可能となる「ハイピックランナー®」の併用で更なる作業効率の向上を実現します。

タナ TsumU™ (施工前)



タナ TsumU™ (施工後、工期1日)



ハイピックランナー®



②堅牢な高層ラックに搬送機能追加で フォークリフト走行距離を大幅削減

シャトルと呼ばれる搬送台車がラック内のレールを走行しフォークリフトに代わってパレットを搬送する製品、「シャトルランナー®」。シャトル搬送距離は、奥行き50mの国内実績を持ち、大幅なフォーク作業の削減が見込めます。

堅牢なフレームとラチス構造による設計で地震の揺れにも強く安心。導入後も定期メンテナンスを行うことで、長く安心してご使用いただけます。



③ピッキング作業時間の約60%を占める「歩行時間」をシリウスが代替

人に代わって倉庫内を移動しピッキング業務を効率化させるAMR搭載型生産性向上ロボットの「シリウス」により庫内の歩行距離や商品を探す時間を削減することが可能です。

作業時間を圧縮することで庫内作業の人材不足を補います。シリウスのAMRロボットは、1台から既存倉庫に簡単に導入することが可能で、作業者のピッキング効率を2~3倍に向上させます。



④高い技術と性能により歩かずピッキングを可能とした マルチノベーションのAGV

作業者がワークステーションにて端末機器を操作するだけで、出荷したいアイテムを保管棚ごとAGVが無人搬送し作業者の前に運ばれる「マルチノベーション」のAI搭載型自動棚搬送ロボット。

作業者が庫内を歩き回ることなく効率的にピッキングできることで、生産性を大幅に向上させます。

倉庫や工場構内の床、「地紋」を読む高精度カメラとセンサーを備え、フロアに磁気テープ (QRコード) を貼ることなく導入が可能です。



⑤腰痛の原因となる作業をサポートし 人に優しく働きやすい環境を創出

「リフト&ドライブ」は、世界で最も人にやさしい国、スウェーデンで産まれたモジュラーシステムの電動式軽量リフターです。ロール運搬、持上げ、回転などの重量物の搬送をサポートしパーツをカスタマイズすることで、箱、ロール、袋などのあらゆる形状の商品に対応します。現場で発生するケガの6割といわれる腰痛を防ぐことで、働きやすく、人材が定着しやすい環境づくりをサポート致します。

